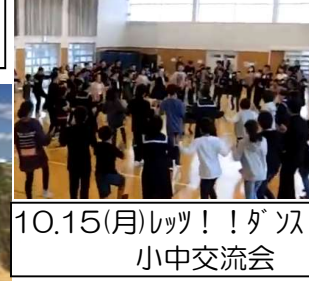
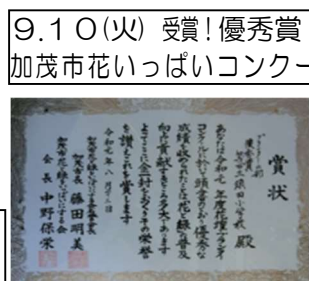
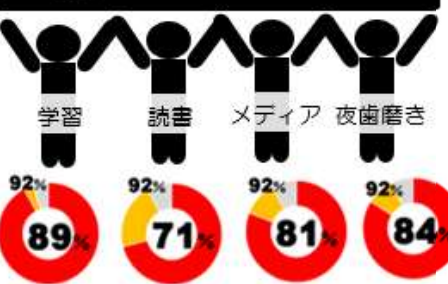


# 2学期の子供の育ちと伸びしろ



## ★健やかな体づくり★

### 生活習慣面



※グラフ内の数字は、各習慣の定着率を示す

### 時間編集力の育成

下の4つの習慣づくりの指導の積み重ねが、間接的に早寝の習慣を支えています。メディアの利用の工夫を図ります。

### 時間編集力の保健指導

全学年で、帰宅後のスキマ時間の有効活用を学ぶ

### 小中連携 元気アップ週間

1週間の時間の使い方方を視覚化して学ぶ

### 定時(午後9時)の夜歯磨き

【歯っぴー大作戦】磨き忘れ防止と、睡眠誘導のきっかけづくり

### 体力面

### 日常的な取組

#### 体育授業に「るるる運動」を

体育授業の準備運動に、投げる・走る・跳ぶ・運動を位置付スキマ時間に「るるる運動」

#### 帰りの会の際、机を水拭きする雑巾絞りで握力向上!

持久力の向上を目指し、サーキットコースを組み込んで練習

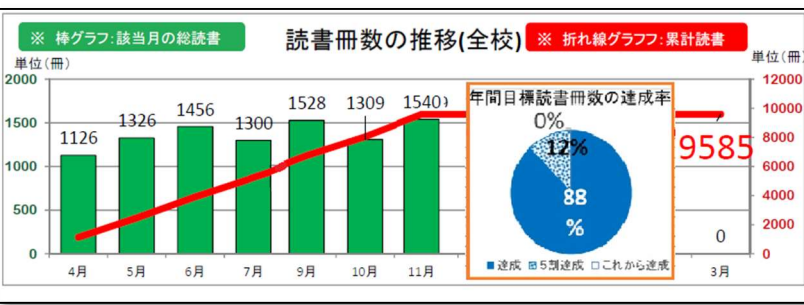
#### 全校がんばりタイム~持久走で

持久力の向上を目指し、サーキットコースを組み込んで練習

## ★対話のある学び★

### 対話力と活用面

★学習を深める対話力(左下のアンケート参照)は一定の定着が見られます。この力で、身近な地域(自分)を見直す学習(須田dy)の取組を本号で紹介します。  
★基礎学力の土台を支える読解力には、日常的な読書の質の向上が不可欠です。朝読書(週2回)や家庭読書の推奨等、全校で取り組んでいます。読書量だけみると、昨年度比で約2倍です。



### 須田dy 3年生 宣伝します! 須田ブランド梨

「地域」を知るために身に付ける力... 着せかえる つなげる

1学期一貫して取り組む「地域学習」... 2学期「健康と「健康」をテーマにした学習... 3年生の子どもたちは、地産地消という観点から、様々な具体的な取組をしています。...

「須田の梨・ふしぎ発見」へ... 学んだことを「つなげる」

「つなげたつなげ」から「つなげる」へ... 須田dyの「つなげる」は、地域の魅力を伝えるための学習です。...

ポスターで「梨の魅力」発信!... 「つなげる」から「つなげる」へ

### 11.1 (金) 響き合う 市内小学校音楽発表会



### 11.25 (月) 咲かせましょう 地域の皆さんと球根植え

2学期  
>授業日数: 76日  
>授業時間: 約400時間  
>給食残量: 約2%

教科学習で身に付けた力を活用する「須田dy」  
全学年で取り組み進行中!

## ==== 学校評価 (児童アンケート) 結果 ====

◆グラフの黒の部分は、全校児童に占める肯定的評価の割合を示す。(令和元年12月実施)  
◆前期との比較... 5ポイント以上上昇 (○) 下降 (▽)

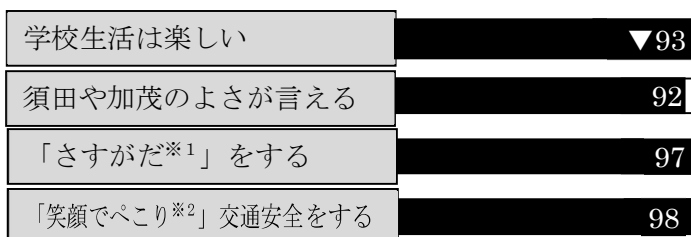


### <健やかな体づくり>

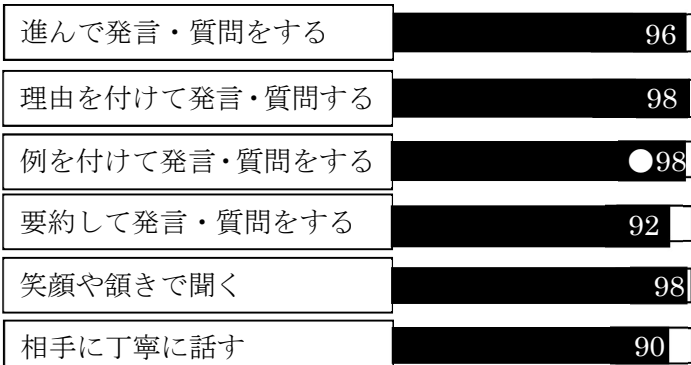


【備考】※1 「さすがだ」; 自分のよさを他の人にも生かすこと

### <求める須田っ子の姿>



### <対話のある学び>



※2 「笑顔でぺこり」; 心に余裕と感謝の気持ちで道路を渡ること

二学期の通知表  
須田小の教育で特に重要視していることが、左下の評価項目です。各々の子供たちからの評価をグラフにまとめてみました。

(保護者アンケートは次号の学校便りでお知らせします)

対話のある学び  
自分の考えに根拠(理由)を加えるだけでなく、具体的な例(たとえ)を加え、相手により伝わりやすくしようとす姿がみられます。これまでも、授業では意見だけでなく、根拠(理由)を付けて発言することを指導してきました。たとえ同じ意見でも、根拠に違いがあることを丁寧に整理すること、筋道の通った考えになるように指導してきました。その

須田dyは、各教科で学んだ知識や考えの力を活用する学習です。生活科や総合的な学習の時間を使って、ふるさと(理由)を加えるだけでなく、具体的な例(たとえ)を加え、相手により伝わりやすくしようとす姿がみられます。これまでも、授業では意見だけでなく、根拠(理由)を付けて発言することを指導してきました。たとえ同じ意見でも、根拠に違いがあることを丁寧に整理すること、筋道の通った考えになるように指導してきました。その

須田dyは、各教科で学んだ知識や考えの力を活用する学習です。生活科や総合的な学習の時間を使って、ふるさと(理由)を加えるだけでなく、具体的な例(たとえ)を加え、相手により伝わりやすくしようとす姿がみられます。これまでも、授業では意見だけでなく、根拠(理由)を付けて発言することを指導してきました。たとえ同じ意見でも、根拠に違いがあることを丁寧に整理すること、筋道の通った考えになるように指導してきました。その



(学校評価部)

「つなげる」を実感するNANI? ~ 日常的な取り組みを目指す ~